

1. 件名：3号機燃料取扱設備の予備品の手配状況について

2. 日時：令和元年10月9日（水） 13時30分～14時15分

3. 場所：原子力規制庁 9階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

澁谷企画調査官、宇野課長補佐、山中係員、田上係員、高木技術参与

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクト計画部 プール燃料対策グループ GM他担当2名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社から、3号機燃料取扱設備の予備品の手配状況について、資料に基づいて以下の説明を受けた。

➤ 予備品の範囲

下記の観点で範囲を定めて手配を進めている。

・リスクアセスメントに基づく予備品

・これまでの不具合等を鑑み、長期停止を回避する為に準備する予備品

➤ 予備品納期短縮に向けた対応

発注は済ませているものの、未納入の部品については、対応チームを構築し納期短縮を図る。

○原子力規制庁は、上記説明内容を確認するとともに、今後の燃料取り出し状況について適宜連絡するよう求めた。

6. その他

資料：3号機 燃料取扱設備の予備品について